

1 国語科研究主題 「豊かな言語活動を導き出す国語学習のあり方
 -基礎学力を身につけ、生き生きと表現する姿を求めて-

2 題材名 文章の形態を選んで書こう -修学旅行記を作る-

3 題材について

(1) 題材観

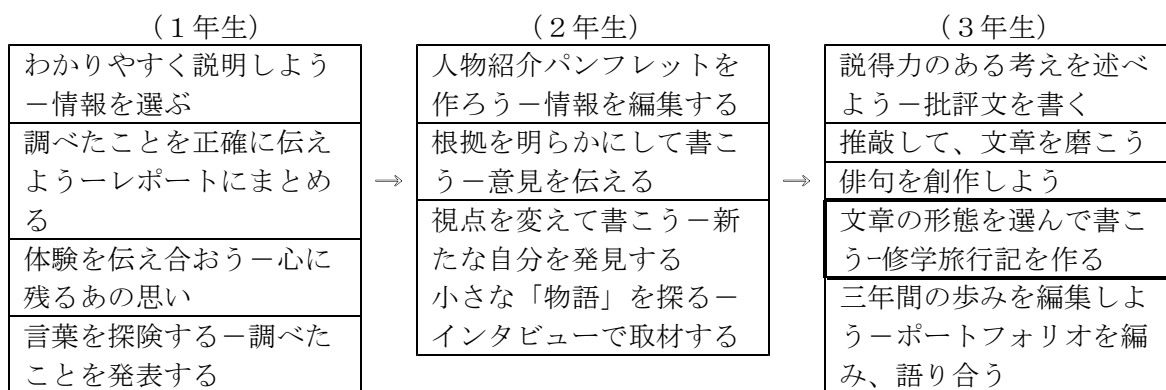
本題材は、中学校学習指導要領の第3学年B書くこと(1)ア「文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること」を受けて、設定されている。5種類の文章の形態の中から伝える目的や内容に応じて選ぶことで、目的にふさわしい文章を理解し、文章力を育てることをねらいとしている。

生徒達は1学期に「説得力のある考えを述べよう-批評文を書く-」で、テレビ番組についての批評文を書き、取材→分析→構成→推敲→文章という流れで文章を書く経験をした。また「推敲して文章を磨こう」では、推敲のポイントを学習してきた。更に「俳句を創作しよう」では、修学旅行の思い出を一句に込めて創作した。これを受けて、本単元では修学旅行の経験を想起しながら、自分が表現したい事に最もふさわしい文章の形態を選び、修学旅行記を作ることを目的とする。生徒達の文章形態に対する認識は、生活文・読書感想文・校外学習新聞など、自分の体験した形態であろう。また「作文」と聞くと、げんなりした顔をする「作文アレルギー」の生徒も多いが、自分の思いや考えを最も効果的に伝えるには、どんな文章形態が適切なのかを考えさせることで、文章形態の特徴を理解させ、構成や表現の工夫に留意させるとともに、作文への抵抗感を取り除きたい。

そこで本題材では、少人数のグループで修学旅行で印象に残ったことを話し合わせたり、マッピングを利用したり、修学旅行で作った俳句や修学旅行新聞などを見返したりして、題材を考えさせる。また文章形態を自分で選択することで意欲を喚起させ、表現の工夫につなげたい。最後に修学旅行記をクラス全体でまとめ、互いに読み合い評価することで次の「三年間の歩みを編集しよう-ポートフォリオを編み、語り合う-」につなげたい。

(2) 指導内容の系統

本題材に関わる教材の配列は、以下の通りである。ただし、1・2年時までは旧教科書の配列で実施している



(3) 生徒の実態

本学級の生徒は、男子18名、女子18名の計36名である。全体的に落ちついており、特に男子は発表意欲が旺盛である。国語科の授業においては集中して課題に取り組み、ノート整理なども熱心に行う。1学期の批評文では、多くの生徒が課題を確実にこなし、中には鋭い観点で批評文を書いた生徒もいた。俳句作りでは、素直に風景や感動を詠んでいた。

<題材に関する実態調査> (実態調査時35名、欠席1名)

実態調査から「文章を書くのが好き」と答えた生徒が25%であり、75パーセントの生徒は「好きではない」と答えている。かなりの苦手意識があることがわかる。「文章を書く時に苦勞するのは何か」という質問に対しては、「文章の構成」（上の表中では“構”と略す）をあげた生徒が13名と最も多く、以下「表現の工夫」（“表”と略す）7名、「題材の選択」（“題”と略す）5名、「文章の書き方」（“文”と略す）4名、「情報収集」（“情”と略す）3名、「漢字の表記」（“漢”と略す）2名、「その他」（“他”と略す）1名という結果であった。そこで苦手意識を払拭するために、いくつかのステップを設ける。また文章の形態を選ばせ、書きやすい文体で書くことで、意欲を喚起したい。

多くの生徒が苦勞している「文章の構成」に関しては、パターンを示しそれに当てはめるよう助言することで、参考とさせたい。「表現の工夫」に関しては、工夫箇所を1ヶ所に限定することで作業しやすくさせたい。「題材の選択」に関しては、マッピングや修学旅行新聞、修学旅行で作成した俳句を利用し、多様な観点から選ばせたい。また、No. 3,7,9,12,14,19,23,27,28,31,35のように、「文章の形態」の理解が今一步の生徒に対しては、日常生活の中から例をあげて説明を加えたい。特に「文章を書くのが好きではない」上に「文章形態」の理解が今一步の、No. 3,7,9,14,27,28,31,35の生徒に対しては、班内で相談しながら作業することで、疑問点を解決しやすい場を設定する。

4 題材の目標

- (1) 修学旅行について伝えたい内容と目的を明確にして、修学旅行記に取り組もうとする。
(関心・意欲・態度)
- (2) 表現したい内容や目的にふさわしい文章形態を選ぶことができる。(書くこと)
- (3) 文章形態にふさわしい構成や表現となるよう工夫することができる。(書くこと)
- (4) クラスで修学旅行記として編集し、互いに読み合い評価し合える。(書くこと)
- (5) 文章形態にふさわしい語句や表現を用いて思いが伝わる修学旅行記を作ることができる。
(言語)

5 指導計画（4時間扱い）

- (1) これまでの3年間を振り返り様々な文章形態を想起し、修学旅行記の文章形態を選ぶ。
..... 1時間（本時）
- (2) 情報を取捨選択し、構成を考える。..... 1時間
- (3) 効果的な表現を工夫し、文章にまとめる。..... 1時間
- (4) 修学旅行記をクラス全体でまとめ、互いに読み合い評価し合う。..... 1時間

6 本時の指導（1／4）

(1) 目標

- ① 文章形態を意識しながら、進んで作業しようとしている。(関心・意欲・態度)
- ② 選んだ文章形態にふさわしい言葉遣いで、例文を書き換えることができる。(書くこと)

(2) 仮説との関連

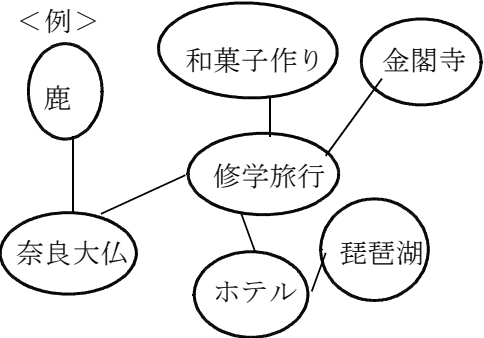
教科の研究仮説

学習活動の中で、計画的に意見を比較させる場を設けるとともに、異なる意見も採り上げ認める配慮をしていけば、表現する喜びや充実感が増し、進んで学習する態度が育つであろう。

グループ内で読み合ったり、相談しながら題材を選んだりすることで表現への興味・関心を高め、題材に適した文章形態を選ばせたい。

(3) 展開

学習内容と生徒の活動	時配 (形態)	指導上の留意点・支援と評価 (△印は評価)	資料等
1 これまでの「書くこと」の学習を振り返り、様々な文章形態を発表する。	5分 (一斉)	・ 3年間の「書くこと」の学習を想起させる。教科書 P240 の「いろいろな文章形態」も参考に示す。	光村「国語3」

2 本時の学習課題を確認する。		・ 班編制は修学旅行の班とする。	
自分の思いや考えを最も効果的に伝えるには、どんな文章形態がいいだろうか。			
<p>3 ワークシート1の「校外学習のメモ」を文章形態から選んで、書き換える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 脚本・報道文・随筆・意見文・手紙の中から選ぶ。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>脚本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ト書き ・ せりふ中心 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>報道文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5W1H ・ 正確さ </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>随筆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情景 ・ 感情 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>意見文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見 ・ 根拠 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> <p>手紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝える ・ 気持ち </div> </div>	20分 (班別)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート1の校外学習のメモを、班内で相談しながら書き換えるよう指示する。 ・ 教科書P129の「合唱コンクール」の例を参考にさせる。 ・ それぞれの文章形態の特色を簡単に把握させる。 ・ 生徒No.3,7,9,14,27,28,31,35には、最も書きやすい手紙や随筆を選ぶようアドバイスする。 ・ ここはあくまで練習なので、おおむね出来ていれば可とする。 <p>△選んだ文章形態に即して、適切に書き換えているか。</p> <p style="text-align: right;">(ワークシート1)</p>	ワークシート1 特色をまとめた画用紙
<p>4 修学旅行について書きたい題材を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 修学旅行新聞・個人掲示物などを参考にマッピングをし、題材を選ぶ。 <p><例></p> 	15分 (班別)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班内で相談しながら選ぶよう促す。 ・ 話に夢中になりすぎないように注意する。 ・ 個人掲示物は配布、修学旅行新聞は教室の壁に貼り、必要に応じて利用するよう指示する。 <p>△積極的に作業できたか。(観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 心に残った体験や感動を中心に書くようアドバイスする。 ・ 2～3人の生徒を指名する。 ・ まだ決まらない生徒には、発表を参考にさせる。 	ワークシート1 修学旅行新聞 個人掲示物 (「修学旅行で一句」)
5 書きたい題材にふさわしい文章形態を選び、ワークシート2にまとめる。	5分 (個別)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的と伝えたい内容を明確にするよう指示する。 <p>△文章形態を選び、ワークシート2にまとめられたか。</p> <p style="text-align: right;">(ワークシート2)</p>	ワークシート2
6 今日の学習を振り返り、自己評価する。	5分 (個別)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次時の予告(情報の取捨選択・構成)も併せて伝える。 	